

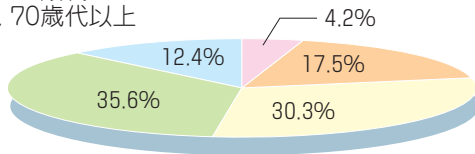
# 特別調査「中小企業経営者の健康管理と事業承継について」

## 問1

貴社の社長（代表者）の年齢階層はいずれに属しますか。下記の1～5の中から1つ選んでお答えください。また、貴社の業歴はいずれに属しますか。下記の6～0の中から1つ選んでお答えください。

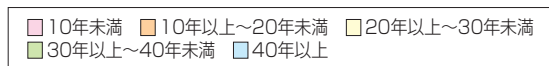
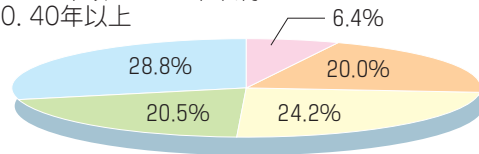
### （社長の年齢階層）

1. 20歳代、30歳代
2. 40歳代
3. 50歳代
4. 60歳代
5. 70歳代以上



### （貴社の業歴）

6. 10年未満
7. 10年以上～20年未満
8. 20年以上～30年未満
9. 30年以上～40年未満
0. 40年以上



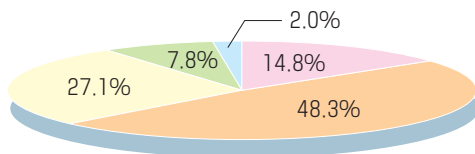
社長（代表者）の年齢階層について、最も多い回答は「60歳代」35.6%、次いで「50歳代」30.3%、業歴について、最も多い回答は、「40年以上」28.8%、次いで「20年以上～30年未満」24.2%という結果となりました。

## 問2

健全な経営のためには、社長（代表者）の健康が不可欠です。社長（代表者）の先月の労働時間（経営に費やした時間）は、1週間当たりにするとどの程度ですか。1～5の中から1つ選んでお答えください。また、健康診断をどの程度の頻度で受けていますか。下記の6～0の中から1つ選んでお答えください。

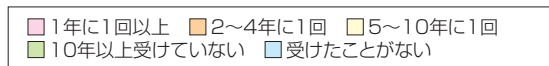
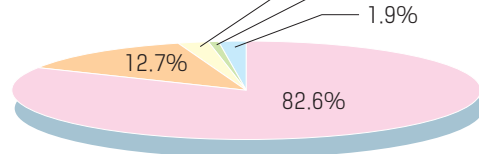
### （1週間あたりの労働時間）

1. 40時間未満
2. 40時間以上60時間未満
3. 60時間以上80時間未満
4. 80時間以上100時間未満
5. 100時間以上



### （健康診断を受ける頻度）

6. 1年に1回以上
7. 2～4年に1回
8. 5～10年に1回
9. 10年以上受けていない
0. 受けたことがない



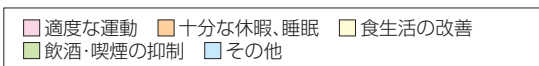
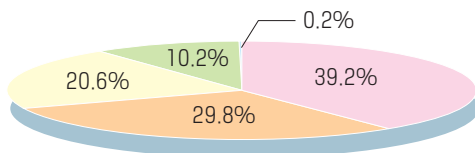
社長（代表者）の1週間あたりの労働時間について、最も多い回答は「40時間以上60時間未満」48.3%、次いで「60時間以上80時間未満」27.1%、健康診断を受ける頻度について、最も多い回答は「1年に1回以上」82.6%、次いで「2～4年に1回」12.7%という結果となりました。

## 問3

社長（代表者）にお尋ねします。自身の健康の維持・向上に向けて、日ごろから意識・取り組みをしていることはありますか。取り組んでいる人は最も注力していることを1～5の中から、あまり取り組んでいない人はその理由を6～0の中から1つ選んでお答えください。

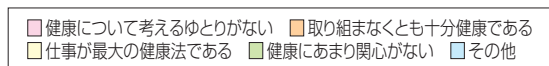
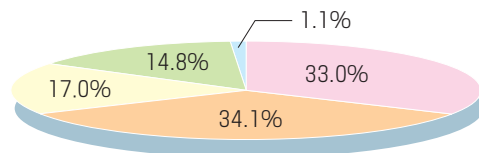
### （日ごろから取り組んでいること）

1. 適度な運動
2. 十分な休暇、睡眠
3. 食生活の改善
4. 飲酒・喫煙の抑制
5. その他（ ）



### （あまり取り組んでいない理由）

6. 健康について考えるゆとりがない
7. 取り組まなくとも十分健康である
8. 仕事が最大の健康法である
9. 健康にあまり関心がない
0. その他（ ）



社長自身の健康の維持・向上で、日ごろから取り組んでいる人が最も注力していることについて、最も多い回答は「適度な運動」39.2%、次いで「十分な休暇、睡眠」29.8%、あまり取り組んでいない人の理由について、最も多い回答は「取り組まなくとも十分健康である」34.1%という結果となりました。

問4

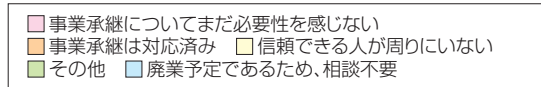
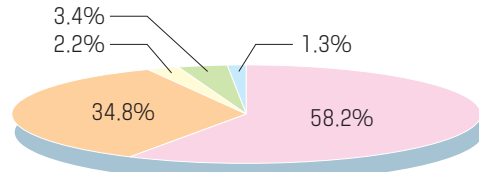
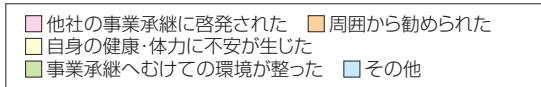
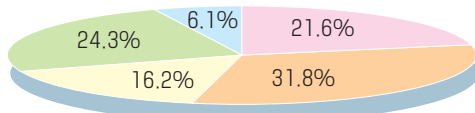
経営者の高齢化が進むに連れて、事業承継（経営の引継ぎ）が大きな問題となりつつあります。貴社では、事業承継について具体的な相談をしていますか。相談している人はそのきっかけを1～5の中から、相談していない人はその理由を6～0の中から、最も当てはまるものを1つ選んでお答えください。

（相談している）

1. 他社の事業承継に啓発された
2. 周囲から勧められた
3. 自身の健康・体力に不安が生じた
4. 事業承継へむけての環境が整った
5. その他（ ）

（相談していない）

6. 事業承継についてまだ必要性を感じない
7. 事業承継は対応済み
8. 信頼できる人が周りにいない
9. その他（ ）
0. 廃業予定であるため、相談不要



事業承継の問題で、具体的な相談をしている人のきっかけについて、最も多い回答は「周囲から勧められた」31.8%、次いで「事業承継へむけての環境が整った」24.3%、相談していない人の理由について、最も多い回答は、「事業承継についてまだ必要性を感じない」58.2%、「事業承継は対応済み」34.8%という結果となりました。

問5

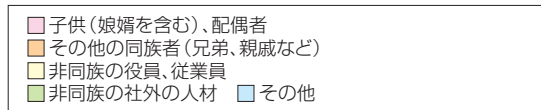
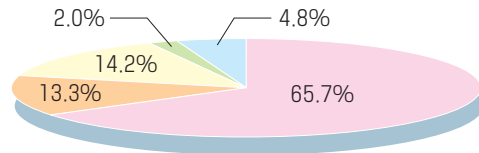
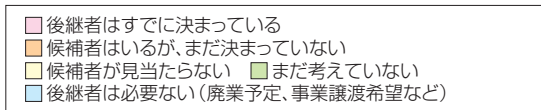
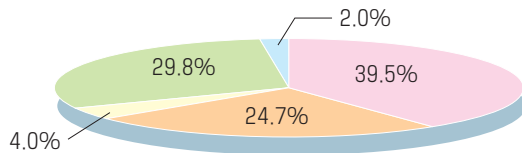
貴社の後継者問題について最もあてはまるものを、下記の1～5の中から1つ選んでお答えください。また、貴社ではどのような人材を後継者にしたいですか。下記の6～0の中から1つ選んでお答えください。

（後継者について）

1. 後継者はすでに決まっている
2. 候補者はいるが、まだ決まっていない
3. 候補者が見当たらない
4. まだ考えていない
5. 後継者は必要ない（廃業予定、事業譲渡希望など）

（希望する人材）

6. 子供（娘婿を含む）、配偶者
7. その他の同族者（兄弟、親戚など）
8. 非同族の役員、従業員
9. 非同族の社外の人材
0. その他（ ）



後継者問題について、最も多い回答は「後継者はすでに決まっている」39.5%、次いで「まだ考えていない」29.8%、後継者として希望する人材について、「子供（娘婿を含む）、配偶者」65.7%、次いで「非同族の役員、従業員」14.2%という結果となりました。